

WEEKLY REPORT

【例会場・事務局】
〒197-0832 東京都あきる野市上代継600
東京サマーランド スポーツクラブハウス
TEL.042-533-3992 FAX.042-533-3993

Rotary
第2580地区



よいことの
ために
手を取りあおう

東京秋川ロータリークラブ
2025-26年度 8号

2025年9月18日
第2425回例会

出席報告	会員	出席	欠席	免除	出席率
	40	28	12	0	70.0%

本日のテーマ

例会 アートどころpomme
代表 立石 駒子 様

次回以降のプログラム

9月25日(木) 取り止め
10月 2日(木) ガバナー補佐訪問
10月 9日(木) 取り止め

第2424回の出席率訂正 会員40名 出席34名 メークアップ1名 欠席5名 免除0名 訂正出席率 87.5%

会長方針

皆の力で魅力的なクラブへ！

本日のお客様

- ・アートどころpomme 代表 立石 駒子 様
- ・パスト地区ガバナー 嶋村 文男 様 東京東江戸川RC
- ・世界社会奉仕委員会 副委員長 北尾 康幸 様 第2650地区京都東RC



嶋村 文男 様



北尾 康幸 様

会長報告 山下 克己 会長

- 第40回 秋川RC杯秋川流域少年軟式野球大会
開会式:9月28日(日) 8:30小和田グランド 会員集合:8:20
- 秋川市民チャリティゴルフ大会 ご協力御礼状が届きました。
- 甲子園野球大会の写真申込:再回覧、希望者はチェックのうえ事務局へ。
- クラブ活性化ワークショップ(9月3日(水) 都内・損保会館)参加報告。
今後の活動に反映。



幹事報告 高橋 和宏 幹事

- 次回例会:10月2日(木) ガバナー補佐訪問(麻沼 様・坂谷 様)
- ガバナー公式訪問:11月6日(木)
- 佐藤 慶 君は「来年の合同例会」ソングリーダー内定、毎例会で実施予定。



委員会報告

- 合同例会 岡部 道明 実行委員長
体制:相談役を枠内に入れ、全員で推進へ。
本例会終了後に15分の連絡会。
各担当(総務・接待・会場・記録報告・懇親会・救護・会計)からいずれか1名必ず参加。
- 親睦委員会委員長 今田 一範 委員長
9月4日(木)「あゆの塩焼きの会」多くの参加に感謝。
ご協力:鮎(乙戸 康博 君)、生姜(橋本 健司 君)、
こんにゃく(井上 文喜 君)、かき氷(坂谷 充孝 君)。
今後のイベント:10月・12月に実施予定、引き続き協力依頼。
- 青少年奉仕委員 田中 龍樹 委員長
9月28日(日) 少年軟式野球大会 開会式:多くの参加・応援を呼びかけ。
秋川IRCの甲子園勝利(13年ぶり)にも触れ、地域スポーツ支援の意義を強調。



岡部 道明 君



今田 一範 君



田中 龍樹 君

今月のお祝い

会員誕生

- 鶴田 和男 君 昭和21年9月4日
- 井上 文喜 君 昭和26年9月20日
- 小倉 篤高 君 昭和55年9月9日

結婚記念

- 進藤 晃・静子 夫妻 9月25日

パートナー誕生

- 齊藤 香織 様 9月6日
- 町田 友里 様 9月4日
- 佐藤 舞 様 9月15日



会員誕生祝い



パートナー誕生祝い

— SAA委員会 — ニコニコ 発表

合計金額 **73,000円**

- ・山下 克己 会長 嶋村パストガバナー、北尾世界社会奉仕委員会、副委員長本日はようこそいらっしゃいました。また、立石さん本日の卓話よろしくお願い致します。
- ・松村 和夫 君 先日のあゆの塩焼き会には大変お世話になりました。
- ・井上 文喜 君 Tシャツと、こんにゃく謝礼をニコニコへ「井上食品これからもよろしくお願い致します。」本人誕生祝いをいただいて。
- ・今田 一範 君 アユの塩焼きご参加ありがとうございました。橋本さんしょうが、坂谷さんかき氷、井上さんこんにゃくと、差入れ頂き美味しくいただきました。
- ・齊藤 章浩 君 嶋村パストガバナー、北尾様 ようこそいらっしゃいました。妻誕生祝いをいただいて。
- ・松村 博文 君 嶋村パストガバナー様、北尾 康幸 様、本日はようこそ、おいで下さいました。
- ・佐藤 慶 君 妻誕生祝いをいただいて。
- ・田中 龍樹 君 あきる野市チャリティーゴルフでブービー賞をいただき、同好会ゴルフで優勝させていただきありがとうございました。
- ・小倉 篤高 君 本人誕生祝いをいただいて。
- ・乙戸 康博 君 早退いたします。
- ・秦 英準 君 早退いたします。

- ・東京東江戸川IRC 嶋村 文男 様
こんにちは、ひさしぶりにうれしいメーキャップです。
京都東RC北尾 康幸 さん共々、よろしくお願いします。
- ・京都東RC 北尾 康幸 様
お世話になります。

— 卓話 — 立石 駒子 様 (アートどころpomme代表)

私は秋川駅南口近くで「アートどころポム」という絵画造形教室を運営しています。臨床美術と呼ばれるアートセラピーを基盤とし、五感を使いながら作品を作ることによって脳を活性化し、認知症予防やストレス緩和、感性教育などに効果があるとされる取り組みです。例えばリンゴを描くとき、形からではなく触ったり匂いを嗅いだりした後に“点”から描き始めることで、誰もが自由に表現できるようになります。大切なのは完成品の出来栄ではなく、作る過程で生まれる熱量や喜びです。



ポムには子どもから高齢者まで、障害のある方もない方も通っており、作品には境界がなく誰のものか判別できないほどです。これはまさにアートの力であり、私が大事にしている「分けない・比べない」という考えにつながります。イベントや出張講座、作品展、地域の事業者とのコラボを通じて、多様な人が混ざり合う“サードプレイス”を提供しています。

私はもともと作業療法士として福祉施設で勤務し、障害のある方の生活や余暇がいかに制限されているかを実感しました。当初は生活介護事業所の開設を目指しましたが資金や物件の課題で断念し、まず余暇支援としてポムを始めました。今では30名ほどが登録し、障害のある方も半数を占めています。西多摩地区は生活介護の受け皿が不足しており、再度福祉事業所への挑戦も検討しています。寄付や地域の協力を得ながら、持続可能な仕組みをつくりたいと考えています。

アートを通じて誰もが自分を表現し、混ざり合える場を広げていくこと。それが私の使命であり、地域と共に歩んでいきたいと思っています。本日はこのような機会をいただき、ありがとうございました。



◆編集 週報委員会 担当 新井 悠央